

癌化学療法輸液約束処方 大37

癌種 大腸癌 再発・切除不能（外来・入院用） インフューザーポンプ使用

レジメン名 大37 FOLFIRI + RAM

薬品名（商品名）	一般名	略号	標準投与量	投与時間	投与経路	投与日	1コースの期間
サイラムザ	ラムシルマブ	RAM	8 mg/kg	60分	CVポート	DAY 1	14日間
イリノテカン	塩酸イリノテカン	CPT-11	150 mg/m ²	90分			
レボホリナート	レボホリナートCa	I-LV	200 mg/m ²	120分			
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5FU	400 mg/m ²	bolus iv			
			1600~2400 mg/m ²	46hr civ			

【 DAY 1 】

【 CVポート 】

- ① NS 100ml + デキサート 1V + ポララミン 1A / 30分
- ② NS 250ml + サイラムザ _____ mg / 60分
- ③ NS 100ml / 10分
- ④ NS 50ml + グラニセトロン 1A / 5分
- ⑤ NS 500ml + イリノテカン _____ mg / 90分 * 末梢①同時投与
- ⑥ NS 50ml / 30分
- ⑦ NS 50ml + フルオロウラシル _____ mg / 5分
- ⑧ NS _____ ml + フルオロウラシル _____ mg / 計 _____ ml / 46hr civ
※ニプロシユアフューザー使用: SFS-1002D (100ml用)、SFS-5-25 (250ml用)
- ⑨ NS 20ml / シュアフューザー終了時フラッシュ

【 末梢 】

- ① 5%Tz 250ml + レボホリナート _____ mg / 120分
- ② 生理食塩水 50ml / 5分

< 備考 >

- ① 主として**2次治療以降**でBev+FOLFOX投与中または投与後に増悪した症例に適応。
- ② サイラムザ投与時はフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用すること。
- ③ G1~2のinfusion reaction発現時は、アセトアミノフェン、デキサメタゾン、H1ブロッカーなどの前投薬を強化する。
- ④ 手術予定の場合または創傷治癒してない場合は投与中断する。術後28日以内、CVポート留置7日以内は慎重投与。

< 投与中止 >

動・静脈血栓塞栓症、G3~4のinfusion reaction、消化管穿孔、G3or4の高血圧、うっ血性心不全、コントロール不能な高血圧可逆性後白質脳症症候群(痙攣、頭痛、錯乱、視覚障害等)、3g以上/日の蛋白尿またはネフローゼ症候群